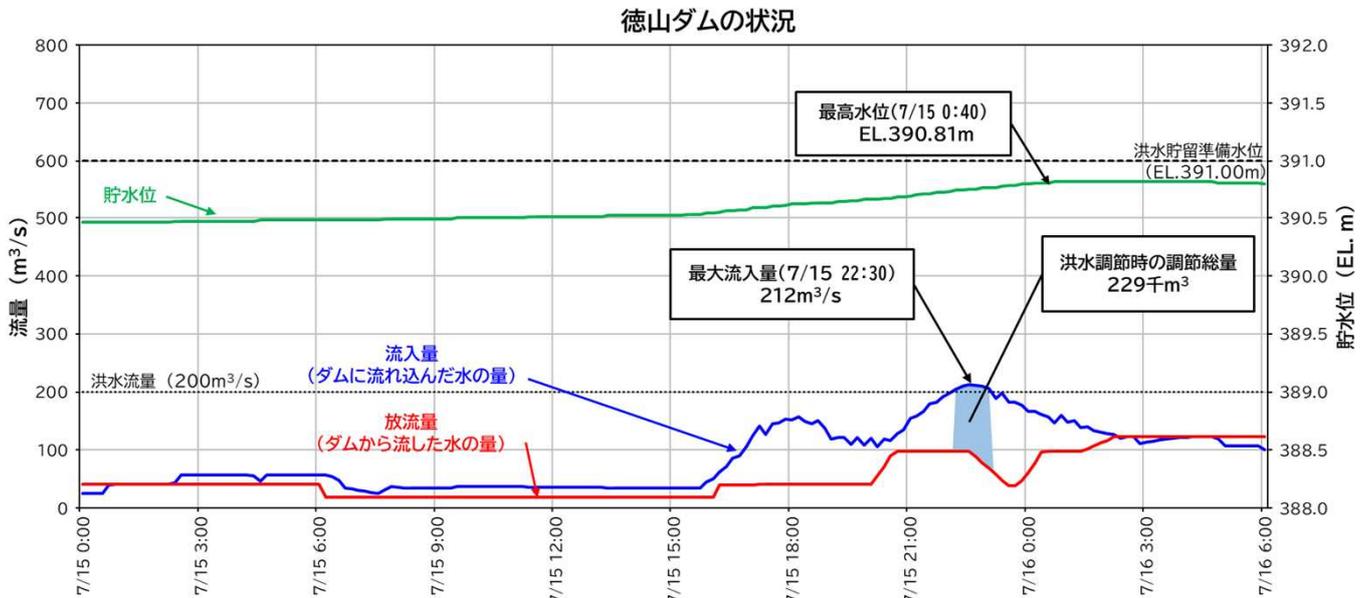
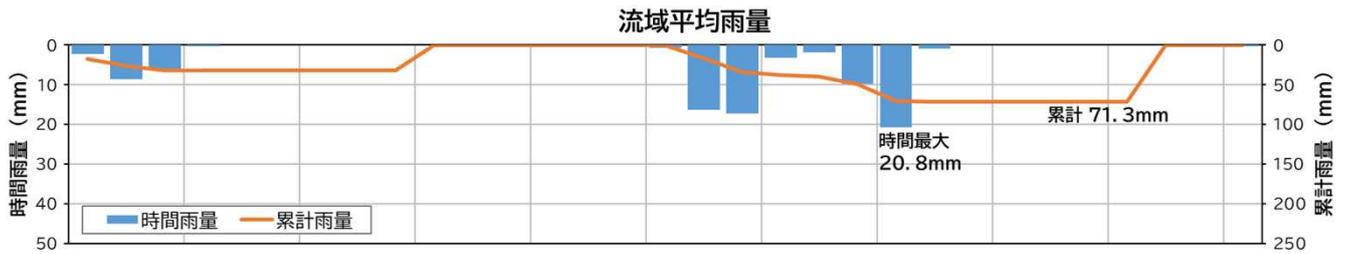
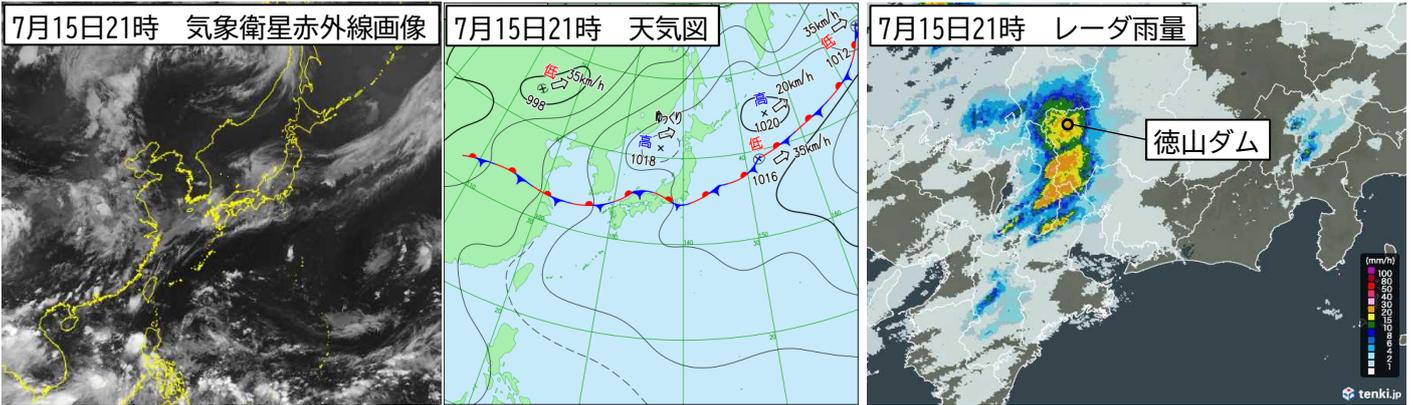


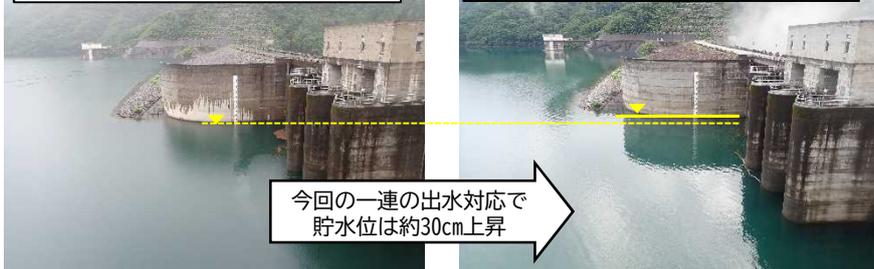
令和6年7月15日 前線に伴う降雨における防災操作の概要

- 梅雨前線が対馬海峡から東日本を通り、日本のはるか東にのび本州付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、岐阜県においても一時的に激しい雨が降りました。
- 徳山ダム流域では、7月15日の15時頃から雨が降り始め、流域平均総雨量は約70mmを観測しました。特に7月15日21時に時間最大20.8mmの降雨を観測しました。
- この降雨の影響で、ダムへの流入量が増加し、洪水量(200m³/s)に達する出水となり、合計約23万m³の水を貯留しました。



7月12日 9時 貯水位：EL. 390.39m

7月16日 7時 貯水位：EL. 390.78m



今回の一連の出水対応で
貯水位は約30cm上昇